



21世紀の幕あけ “人と自然がふれあう美しいまち”をめざして

12月定例会 **川辺西団地造成工事に着手** 2

臨時会 助役選任同意・町長不信任案など否決 3~5

一般質問 7氏が問う 6~14

編集後記 14

12月定例会

(12月11日～18日)

川辺西団地造成工事に着手

請負契約の締結、条例の一部改正、平成12年度一般会計補正予算など14件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

可決案件

▲請負契約の締結

川辺西団地(仮称)造成工事
契約の方法 指名競争入札
契約金額 7822万5000円
契約の相手方 川辺町上川辺1643
佐伯綜合建設株式会社

関する条例の一部改正

町長をはじめとする特別職員
の期末手当を、人事院勧告に基づき0・2ヶ月分減額しました。

▲議会議員の報酬及び期末手当に関する条例の一部改正

期末手当の割合を特別職員
と同率の引き下げをしました。

▲職員の給与に関する条例の一部改正

期末手当の割合を特別職員
・議会議員と同率の引き下げと、扶養手当の改正をしました。

▲職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部

一部を改正する条例の一部

改正

再任用職員の期末手当の率
の引き下げの改正をしました。

▲福祉医療費助成に関する条例の一部改正

福祉医療費の助成対象者の
定義の改正と、助成額の算定
方法の改正をしました。

▲平成12年度農業集落排水事業特別会計の繰入金の変更

下水道使用料の増により、
繰入金を800万円減額。

▲平成12年度一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出をそれぞれ437
8万4000円を減額し、歳
入歳出の総額が45億5604
万3000円となりました。

主な内容は、

歳入では、個人町民税の非
課税限度額の引き上げ、固定
資産税の評価替え、ゴルフ場
利用税の利用料金が引き下げ
られたためそれぞれ減額。

歳出では、本年度予定の下
麻生駅舎の改築が来年度以降
となったことから、下麻生駅
駐輪場建設費を減額。

その他、西団地整備事業に
おいて、年度内に事業完了の
見込みが難しくなったため、
4億2484万4000円を
13年度に繰り越すことになり
ました。

▲平成12年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出をそれぞれ427
万円を追加し、歳入歳出の総
額が6億8266万6000
円となりました。

主な内容は、

一般被保険者の療養費、高
額療養費及び出産一時金の不
足が見込まれるため。

▲平成12年度老人保健特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出をそれぞれ88万1
000円を追加し、歳入歳出
の総額が10億3096万40
00円となりました。

主な内容は、
医療費支給費に不足が見込
まれるため。

▲平成12年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出をそれぞれ2120
万1000円を減額し、歳入
歳出の総額が9億3331万
3000円となりました。

主な内容は、
国庫補助金の追加交付によ
る財源の組み替え及び本年度
事業の進捗状況を勘案し減額。

▲平成12年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

予算総額の変更はないが、
使用料の増により繰入金の減
額による内訳の変更。

▲平成12年度水道事業会計補正予算(第1号)

主な内容は、
下水道工事に伴う水道管付
設替え工事費を減額。

第6回臨時会

(12月26日)

助役選任同意など否決

町長らの減給と不信任案も

工事請負契約案件3件は原案のとおり可決しましたが、人事案件と条例改正案件は否決、緊急動議で提出された町長不信任決議案も否決しました。

可決案件

▲工事請負変更契約の締結

見持団地周辺面整備工事

主な理由

管渠布設を110メートル延長に

よる増及び舗装面積601・

8平方メートルの増

変更前

7297万5000円

変更後

7700万5950円

▲工事請負契約の締結

(仮称)川辺西団地(第1期)

建設に伴う建築工事

契約の方法 指名競争入札



造成工事の始まった

(仮称)川辺西団地

契約金額

2億8875万円

契約の相手方

加茂郡川辺町

上川辺1643

佐伯綜合建設株式会社

(仮称)川辺西団地(第1期)

建設に伴う機械設備工事

契約の方法 指名競争入札

契約金額 6279万円

契約の相手方

美濃加茂市加茂野町

加茂野191の1

株式会社和泉管工

否決案件

▲助役の選任同意

氏名 山田政廣

生年月日 昭和24年3月1日

住所 川辺町西栃井68

6の1

提案理由

辻町長

助役として選任したいのは、現在基盤整備課長の山田政廣で、長年の行政経験と、私と価値観が一致する部分が多く、

私の片腕として手腕を発揮できる人物である。

質疑

桜井(真)議員

山田課長は、一般職員としての退職手続は完了しているのか。

木沢経営管理課長

退職手続は行っていない。

日下部議員

町長は、山田課長は行政のベテランといわれたが財政関係、予算・会計関係、総務関係の経験はあるのか。

木沢経営管理課長

一般的な行政関係の事務には携わっておらず、土木関係一筋である。

桜井(真)議員

以前町長は、七宗町の方を助役候補として考えられていたが、その方は七宗町の町長選に臨まれる方だと聞いており、本当に川辺町のために働いていただける方でないかと判断し反対したが、町長が憎い

ということと反対したわけではない。町長の真意は。

辻町長

町長選に立候補する噂はあったが、私と話し合ったときは、川辺町の助役として誇りを持ってやりたいと言われており、町長選に出馬するとは聞いていない。

大脇(芳)議員

山田課長が不同意になった場合には、後の職はどうなるのか。

木沢経営管理課長

今の課長職のままである。

反対討論

山口議員

選任同意で提案された山田課長は30年間川辺町に奉職されているが、その殆どが建設関係に携われたものである。町を運営していくには総合的に行政運営を把握していなければならぬものであり、建設関係以外の経験が不足し

ている。

町長は以前教育委員の選任同意にあたり、前任者の任期切れ寸前に議会に提案し、唐突な提案であったと陳謝された経緯があった。今回の提案も定例会ではなく、年末ぎりぎりとなった臨時会に突如として提案された。またしても唐突である。再度よく考えられ、議会の納得のいく人選を求めるものである。よって、選任同意には反対する。

日下部議員

山田課長は積極的な行政をやってこられたことは認める。仮に次に行われる町長選挙に辻町長が再任されれば良いが、万が一の場合には、新しい町長から選任されない場合もあり、退職となることもあり得る。

助役の空席は許されるものではないが、いたずらに助役をつくればいいというものではなく、職員の融和も考えてやらなければならない。最近の各課を見るに、助役の不在のせいもあり、新年度予算編成にあたっては皆さん積極的

にやっていたいており、昨年と違っているように感じている。

山田課長を人材と認めるが、選任同意には反対する。

桜井(真)議員

助役という席に命をかけて町長の女房役として、町を守っていくという覚悟であれば、一般職を辞職してこの場に臨むべきである。

山田課長は、平成9年に東海環状自動車道の補償代金を受け取った者と、係長と共に下呂温泉に行っている。

下川辺区に入った公金で旅行に一緒について行ったという方を、みすみす特別職の座に座らせたくないという、区民の心情を考え選任同意には反対する。

賛成討論

牧田議員

総論として、助役の空席は許されない。まず、13年度の予算編成、執行という大事な時期であること。今後色々な

事業がでてくるが、入札の指名選定委員長として助役がないこと。区長会を召集した町長が欠席されたこと。1月に行われる知事選挙があるが、強い川辺町を示すためにも助役の政治力が必要であること。水無瀬ダム建設についても地域の住民の方々に理解をしていただく必要がある。これらのことが、助役の必要性としてあげられる。

次に、山田課長は行政のベテランである。建設、土木、基盤整備課に勤務されており、県とのパイプはかなり広いと思っている。県のボート協会の理事長でもあり、ボート王国の顔でもある。これらのことから、山田課長は辻町政の弱点と思われる県とのパイプをカバーし、リーダーシップを取り、行政をやってもらえる方であると期待している。よって選任同意に賛成する。

平岡議員

助役が不在であることは、行政推進においての正常な姿ではない。今は新年度予算の編成時期であり、この重要な

時期に助役の不在は芳しくない。来年の町長選挙まで、助役が不在でもいいのではないかとという意見もあるが、長い間の空白による町民の批判は行政、議会とも責任を問われることになる。過去に議会においては人事案件が不同意になったことはない。これらのことを考え選任同意に賛成する。

採決

起立採決の結果、同意に賛成する議員6名、反対する議員6名で、可否同数となったことから議長が採決権を行使した。議長は反対の意思を表したことから、反対者が多数となり助役の選任同意は否決されました。

▲常勤の特別職職員の給与の特例を定める条例の特例を定める条例

提案理由

辻 町長

平成11年度老人福祉補助金

を過少申請し、多大な補助金の収入減があったことに對し、お詫びを申し上げる次第である。

この件についてはすでに事務担当職員及び直属の上司である課長に厳重注意し、しかるべき措置をとることとしているが、最高責任者である私の責任も当然免れるものではない。したがって、私の給料10割分を1ヶ月の減額と、収入役から道義的な責任を感じるとの申し出から、給料5割分を1ヶ月の減額をするものである。

質疑

日下部議員

9月の決算委員会で町長と委員長との協議の中で、3月の年度末にけじめをつけることになっていったが、急に改正案を出された理由はどうしてなのか。

辻 町長

3月での結論を考えていた。渡辺、山口両議員が県会議員に事態を話され、対応につい

て相談されたが、結果は「この件は一切済んだことである。」
「町の態度を早く、はっきりしなさい」ということであり、それに従ったものである。

牧田議員

担当職員の処分はどうなっているのか。

木沢経営管理課長

8月に課長と担当職員に対し嚴重注意をした。

牧田議員

この問題は犯罪的なものと汚職ではなく、単なる事務的なミスによるもので社会的、道義的に町長が判断されたことと思うが、もう少し議員の中でも検討が必要であり、取り下げする気はないのか。

辻 町長

「町の態度を明確に出しなさい」とのことから、それに従ったもので、今回提出をする。

反対討論

桜井(真)議員

この改正案では、通常の報酬で町長は10割分で6万7000円、収入役は5割分で2万6000円である。2人合わせて9万3000円で処分しますということであるが、補助金の不足額は1340万円であり、9万3000円の処分だけで、町民に対し一言の陳謝の言葉もなく、改正案を上程されることに對し、町民の皆さんに失礼なことである。まず町民に陳謝するべきである。よって、条例改正案には反対する。

採決

起立採決の結果、改正案に賛成する議員は一人もなく、改正案は全員一致で否決されました。

▲川辺町長辻 武史君 不信任決議案

日下部議員から緊急動議が提出され、4名の賛成者がある。

り、追加日程として、川辺町長辻 武史君不信任決議案が提出されました。

提案理由

日下部議員

先の12月議会の一般質問にもあったが、町長は出席しなければならぬ会議にたびたび欠席されており、隣接する市町村長にも恥ずかしい思いをしている。また、老人福祉補助金の過少申請によるミスによって起きた、損害に対するの処分にも不手際があった。今回否決された助役選任同意についても、町長として職員の把握ができていないのではないかと。町長としての資質に少し欠けているのではないかとという気持ちも持っている。これは疑惑であるが、消費期限切れの食品等の配布事件に関する食品衛生法の問題、あるいは公職選挙法に抵触するのではないかとこの疑惑もあり、川辺町長として資質に欠けるという気持ちから、町長の不信任決議案を提出する。

反対討論

牧田議員

不信任理由をいわれたが、確かにそうである。各種の会議を欠席したこと、区長会にも欠席したことは問題であると思う。また、補助金の過少申請の問題は犯罪ではないが社会的、道義的にもこれには納得いかない面もある。食品の配布についてはよくわからない。

いずれにしても不信任案は町長に行政執行を任せることができないということである。私たち議員は住民の声を聞く責務があり、納得のいく理由の説明もしなければならぬが、時間的な余裕もない。総合的に判断すれば、町長の任期はあと少しであり、総まとめの行政執行ができるとし、不信任決議案に反対する。

賛成討論

桜井(真)議員

町長はトレーニング(修練)・サービス(奉仕)・フレンドシップ(友情)の3つを兼ね備えていなければならないと思っている。1万1000余の町民を抱え、トップに立たれる者として、命がけで川辺町を守るような覚悟がなくてはならないが、町長にはそれが欠けている。よって、不信任決議案に賛成する。

採決

起立採決の結果、不信任決議案に賛成する議員7人、反対する議員5人(議長は採決に加わらず)で、否決されました。

※不信任決議案の可決要件は、議員の3分の2以上が出席(13人出席)し、4分の3以上(10人)の賛成が必要です。

【お詫びと訂正】

議会報85号で4分団1部に配備される消防車とあるのは、3分団2部の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

一般質問

そこが聞きたい 知りたい

定例会最終日の12月18日、7名の議員が質問に立ち、18項目にわたり町政をたずねた。

質問と答弁の概要は、次のとおり。



日下部明伸議員

高騰する医療費の抑制策は

【日下部議員】全国の医療費総額は約30兆円で、そのうち老人保険料は約11兆9000億円となっている。

医療費は年間約1兆円のペースで増え続けており、2050年には100兆円になるといわれている。

本町の場合医療費総額は16億8590万円で、そのうち10億5890万円が老人保険料となっている。

医療費抑制は国家的な課題であるが、町としても医療費

の抑制策を考え、健康な町づくりを考えて行くべきと思うが対応を伺いたい。

医療費節減に向けて研究する

【佐伯住民課対策監】医療保険制度は、よい医療の提供、高額な医療負担から家計を守る制度として役割を果たしている。しかし、医療の高度化や急激な高齢化に伴う医療費の増大により、各種保険制度は赤字構造となり、深刻な財政問題となっている。

本町においても例外ではなく、町が支払う医療費は伸び続け、実質な医療に係る費用だけで、11年度の町の決算総額の21・7割を占めている。このような状況により、国では社会保障制度の安定的な継

続を維持するため、介護保険制度の導入、健康保険法・老人保健法等の改正が行われている。

このことから、本町では、町民の健康維持増進、疾病予防等健康づくりのための、基本健康審査や各種ガン検診、健康教室、健康相談、訪問指導等老人保険福祉計画に基づき実施している。増加する医療費は本町においても重要な課題と位置付け、医療費の節減対策を研究するとともに、住民の皆さんが「自らの健康は自ら守る」という意識の中で健康づくり運動を展開していきたい。

小規模授産施設の運営に支障はないか

【日下部議員】社会福祉事業法施行令が改正され本年10月に公布された。

本町にも法人の善意により施設の提供を受けて任意の団体により、小規模授産施設の運営が図られているが、法の改正により、運営に支障をき

改正による支障はない

【赤坂住民課長】本町では、心身障害者に対し、通所による自立に必要な訓練、仕事を通じて自立することを目的として心身障害者小規模授産所を設置し、保護者会に運営委託している。

現在7名の通所者があるが、法の改正による事業規模要件

たすことはないのか伺いたい。



の緩和等があったが、運営に支障を来すことはないと考えている。

鹿塩工業団地の今後の 方策は

【日下部議員】全国で16カ所の地域総合計画が認可され、中濃圏域では鹿塩工業団地を含む、東海環状自動車道、41号バイパス等の事業計画が示され、開発整備が行われている。しかしながら鹿塩工業団地計画については平成6年の基本計画の認定以来、議会での協議、地元説明会の開催、環境影響調査や埋蔵文化財調査にも多くの時間と経費をかけて調査したにも関わらず、現在まで何の手だてもなく残念である。そこで、4点についてお聞きたい。

1点目、今後の工業団地の国、県の方針と展望は。

2点目、工業団地計画の中に、工場内道路を利用して鹿塩から美濃加茂市に至る道路計画がある。この道路は県道美濃―川辺線のバイパスとし

ても計画されたものであるが、現在は宙に浮いたままとなっている。現在山之上地区で、東海環状自動車道の工事が進められているが、今後、この工事による掘削土の処理に、搬出のための専用道路を造る必要があるが、工業団地内の道路と関連して、県の事業による工事として施工できないのか。

3点目、41号バイパスの用地買収により移転を余儀なくされる企業に対し、町外への移転を阻止するため行政として、町内で移転先の用地確保に努めるべきと思うが考えは。

4点目、現在鹿塩工業団地計画は凍結されたままであるが、町独自の計画として、住宅用地の開発を含む計画を考えてはどうか。

厳しい経済状態である が団地計画に取り組む

【日下部産業環境課長】1点目について、工業団地の開発は事業化に向けた検討段階に入っており、地質調査、文化

財試掘調査を完了し、現在は環境影響調査を実施している。調査が済み次第、県と共に基本設計のための検討・協議に入る予定である。また、現在の経済情勢は、やや向上きに転じているものの、完全な回復基調には至っておらず、企業の設備投資を牽引する状況にはなく、工場誘致は非常に厳しいものと認識しているが、

今後においても県と協調し、工業団地計画に取り組んでいく考えである。

4点目について、現時点で、町独自の住宅等の開発計画は考えていない。

団地内の土地利用は有 利な方法で対応したい

【山田基盤整備課長】2点目について、

県道美濃―川辺線は鹿塩工業団地の目処がつくまでは、鹿塩クリーンセンター付近から笹洞川までの拡幅改良を、用地買収の終了したところから順次工事を進めていく予定である。

県道バイパス計画については、工業団



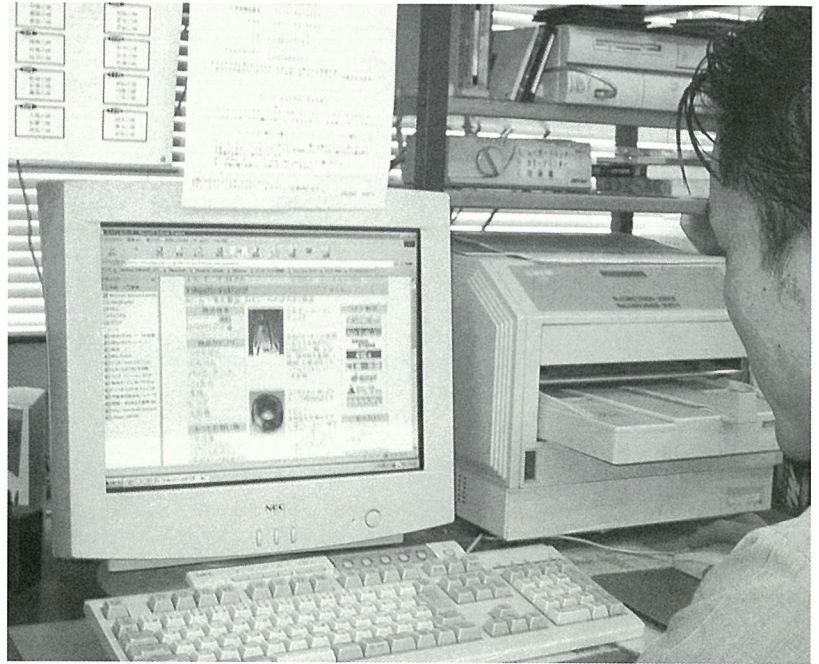
拡幅改良工事が予定されている県道

地の結論が出るまでは現在計画された分のまま止まることとなる。また、工事用の残土を利用し先行的に道路を整備することについては、県、建設省とも協議し、工業団地計画の土地利用を考え、町にとってもっとも有利な方法で対応していきたい。

3点目について、現在地権者の代表者を決め、用地の単価発表ができ、用地買収に着手できるよう努力している。地権者の中には、事業を営んでいる方で現在の場所では営業が困難で、他の場所に移転を余儀なくされる方もあるが、大きな面積を要する方の移転先を探すのは困難であり、建設省とともにできる限りの協力をし、移転先の確保に努めていきたいと考えている。

インターネット併用の ケーブルテレビ開設を

【日下部議員】インターネットを含むケーブルテレビは、もともと難視聴地域の解消を目的に誕生したもので、光ファ



多様な情報がやり取りできるインターネット

イバーケーブルによる相互性
の大伝達能力を生かし、多
用な情報のやり取りができる
情報時代にマッチしたシステ
ムである。

県内では、このシステムが
可児市、岐阜市の一部（長良
地区）で開設されている。こ
れこそが、21世紀のIT（情
報技術）文化の先取りである
と考える。この事業に関連す

る国の補助は、郵政省、農林
水産省等の支援措置があり、
用地買収にまでが補助対象と
なっている。

県においては、IT関連事
業にはもっとも力を入れてお
り、時代の流れに沿った事業
計画を立てれば、早ければ早
いほど有利な補助事業が受け
られるものと思われる。

町長は、「明日の川辺町に

希望のもてる、明るさや元
気が実感できるような行政の推
進が私の使命であり、課題に
取り組む」と明言されている。
このことを踏まえ、ケーブル
テレビの開設についての考え
を伺いたい。

調査研究していく

【辻町長】IT（情報技術）
関連事業は今もっとも重視さ
れており、地域の高度情報化
に地方が中央に対し、対等の
立場に立つための課題であり、
次世代への義務であると考え
ている。

ケーブルテレビ事業は全国
的には、大都市及びその近郊
で民間の事業として行われて
いる。

この事業は、第三セクター
や自治体による経営も考えら
れるが、他市の例を見ても
と、構想から実現までには多
くの年数を要しており、一朝
一夕には難しいものと考えて
いる。しかしながら、町全体
の情報化を推進することは重
要なことと考えており、事業

化するにあたっては概算で約
10億円前後を要するものと見
込まれる。国の補助メニュ
ーを用いても、多額の町費の投
入は避けられない事業であり、
当面は様々な課題についての
研究、利用状況、希望等をア
ンケートなどで調査し、住民
ニーズの把握に努めなければ
ならないと考えており、庁内
にワーキンググループを立ち
上げ取り組んでいきたいと考
えている。

町政の自己評価は

【日下部議員】辻町長は当選
以来、町民の期待を背負いそ
の職務に専念されている。新
進の青年町長として、スポー
ツマン町長としてその名をと
どろかせてはいるが、その行
動は、やや異色であるとも受
け取れるが、非と判断するに
は足らないと考える。

知識の広さ、教養の深さ、
人脈の多さには圧倒されるも
のがあり、人としては尊敬す
るものであるが、しかしなが
ら、行政手腕に関しては少し

ばかり、力不足の感がしてな
らない。

町政を担って4年を過ぎよ
うとしているが、4年間を振
り返られての自己評価を、ど
のようにされているのか伺い
たい。

行政推進の基礎は固まっ たと思う

【辻町長】議員としては10年
の経験があるが、行政の立場
になると、議員の立場と逆に
なり面食らうこともある。

「誰が考えても良いことはや
る」との気持ちで毎日臨んで
いるが、民間人としての私と、
役人としての長いキャリアの
ある行政マンとの間には、少
なからずギャップもあるが、
住民の最前線にある自治体職
員の事業推進の手に、いか
に乘せていくかが鍵である
と思っている。

自己評価は、それぞれの部
署の職員のおかげをもって、
行政推進の基礎が固まってき
たと思っている。



個性化教育実践推進事業が始まりました

個性化教育実践事業とは



牧田富朗議員

【牧田議員】本町の小中学校では「個性化教育実践推進事

業」の研究指定を受け、取り組みがなされている。

指定を受けた個性化教育の実践推進事業とはどのようなものなのか。また、実践活動の中で子どもたちの社会性、仲間づくりはどのように培われていけるのか伺いたい。

次に、先に開催された「ふれあい集会発表会」では、各地区の実践活動が紹介されたが、学校やPTAと地区との連携が薄かったように思われた。「地域の子ど

もは地域に任せ、学校は知らない」と取られても仕方がない。

地域の行事に地区担当の先生が参加し、地域行事と共に連携することが、地域ぐるみの教育であると思う、地域との連携に対する具体策を伺いたい。

課題を設け実践していく

【加藤教育長】実践事業の研究テーマを「個が輝く川辺の子」と設定し学校では、子どもが主体的に学び、基本的な内容が確実に身に付く教科指導の充実を図る。また、地域の素材や人材の積極的活用をする。家庭では、規則正しい生活づくりのため、一家庭一実践を行う。学校・家庭・地域が協力し、実践内容や成果等を共通理解したり交流したりする。このような実践を進める中で、子どもたちの人間関係も社会性も育っていくものと考えている。

学校・PTA・地域の連携については、学校側との連携を密にし、地域行事への参加を積極的に要請をしていきたい。

第3保育園の建設に特別委員会の設置を

【牧田議員】第3保育園（仮

称）は、児童育成計画によれば社会福祉法人から引き継ぎ、公立保育園として整備することとしている。しかし、計画から5年あまりが経過しており、現在の社会情勢を考えると「民間でお願いできるものは民間にお願いする」という民間化に進む傾向にある。

現在建設計画を策定中であるが、建設にあたっては、多くの課題や難問が考えられ、解決に向けて議論する必要がある。用地買収にあたっては周辺道路の拡幅改良も条件に入っているが、これらの課題に対処するため、特別な委員会を設置して協議し、決定すべきと思うが考えを伺いたい。

関係者の意見を聞いて進めたい

【赤坂住民課長】現在までも先進地の視察や、議員の皆さんからの貴重な意見を聞いているが、今後も、幅広く関係者の皆さんの貴重な意見をお聞きし、研鑽を積みながら

多機能保育所の整備を進めていきたい。

辻町政の総括と再出馬の意向は

【牧田議員】辻町長は、「本当に住みよいまち、住んでよかったまち」をスローガンに行政に取り組まれ、この間、前町長の事業を踏襲し継続性を持って推進され、西小屋内運動場、下水道事業、西団地建設、第3保育所、高校総体等を推進してこられた。

町長の政治姿勢は、かつては「日本共産党員」として議員活動され、町長になってからは「無所属町民党？」として、町民本意の政治姿勢でスタートされた。

スポーツマンであり、若者から老人まで、気配りのある交流をされている。しかし、町長としてのリーダーシップにはいささかの疑問を持っている。特に、部下の職員に対する指導、和のある行政が徹底されていないように思われてならない。3年半の間に行

われた人事異動は意表をつくものであった。

4割自治といわれる中で、県とのパイプが最優先と思うが、県との連携はされているのか。5ヶ月後の町長選を前にし、3年半の辻町政の総括と、次期町長選に再出馬の意向はあるのか伺いたい。

再出馬の決意をしている

【辻町長】町政推進については巨大な事業が一挙にでき、議会の皆さんの協力、指導を受け事業に取り組んでいるところである。

再出馬の意向は、行政を司る者の責任は益々重いと感じ、文化の充実等「本当に住んでよかった」と実感していただけのためなら、365日働くこともいとわない。むしろ、そうして働けることが私自身の喜びと思っている。今後においても、高い理念とより具体的な目標を持って進みたいと思っており、再出馬の決意をしている。



鈴木朝典議員

介護保険料の減免を

【鈴木議員】10月から介護保険料の徴収が始まったが、年金生活者にとっては負担が重すぎるとして、徴収を独自の施策で減免する市町村がでている。国では減免できる例としては天災、長期入院、失業、不作の4点であるが、弾力的な条項を条例に盛り込み、低所得者の減免をしている市町村もある。

地方分権一括法の制定によって自治体独自の事務ができることになったが、本町においても低所得者の方に対する工夫を凝らした、施策が必要と思うが考えを伺いたい。

一律に減免することはない

【辻町長】介護保険料の減免は市町村長が条例で定めれば、特別の理由があるものに対し減免、又は徴収を猶予することができるとしているが、

「個別の特殊事情を勘案することであって、例えば住民税

非課税世帯の老齢福祉年金受給者を一律に減免できるものではない。

介護保険は、40歳以上の国民が皆で助け合う制度で、一部の認定者で低所得者が保険料を全く支払わないことは、この助け合いの精神を否定するものである。

保険料においては、所得の低い方への必要な配慮は行われており、地域の状況に応じたサービスの

内容をいかに工夫するかが課題と考えている。

障害をもたれた方の移送に利用されています



業」を実施している。

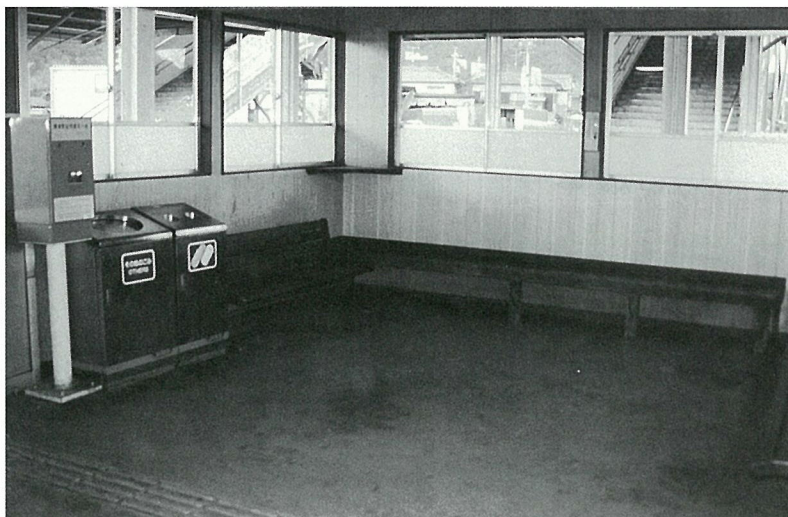
各種行事への出欠基準は

【鈴木議員】町長は福祉の大切さを常にいわれているが、町の福祉大会には多くの町民の皆さんが参加されていたにも関わらず、自衛隊守山基地での行事に出席され、収入役が代理出席されている。

参加者からは代理出席に不審の声が多くあった。多忙なことはよくわかるが、各種の行事への出欠席の優先順位はどのように考えているのか。また、欠席された理由を伺いたい。

先に約束した方に出席した

【辻町長】昨年の高校総体リハーサル大会には31名、本年8月の高校総体ボート競技には51名の自衛隊員の方が炎天下のなか救助艇、発艇台が送サービス



殺風景な駅待合室

る。
最終日の自衛隊員の感謝の集いの際に、10月の記念式典に招待を受け、出席の約束をしていた。その後、福祉大会の開催通知を受けたが、あらかじめ約束した自衛隊の方へ私が、町福祉大会には収入役が出席した。



佐伯陽子議員

本の再利用を計画して

【佐伯議員】JR高山線の待合室に本棚が設置され、高校生たちが利用しているのを見て、「大変いいことだ」と感じた。
町内の駅も無人となり殺風景であり、不用になった本を寄付していただき気軽に読んでもらったら

どうか。本の管理は、ボランティアの方をお願いし、本の選定は教育委員会をお願いしたい。
皆さんが集まってこられる、町内の2、3カ所を選んで設置していただきたいと思うがどうか。

現時点では考えていない

【加藤教育長】高山線の坂上駅に本棚が設置されているが、これは漫画本で、漫画で村の活性化を図ろう、という試みから始まったと聞いている。
本町には、公民館の図書室、下麻生支所、やすらぎの家に本が置かれており、来所者に利用されており、駅の待合室に本を置くことは現時点では考えていない。もし、ボランティアの方々が、自主的に活動されるのであれば、教育的な視点から助言や協力はしていく。

生ゴミリサイクル活動で町の対応は

【佐伯議員】地球温暖化の問題が国際間で話し合われている。現在の状態がこのまま続き、気温が上れば海水面上昇により、10億人に影響がでるといわれている。

そこで、少しでも環境保全に対処することができないかと考え「生ゴミ」を消却しないで堆肥化し、土に返す運動に、町民が動き出している。この運動の火を消すことのないよう、行政としての対応を伺いたい。

生ゴミ堆肥化活動に感謝する

【辻町長】生ゴミを減量化し、また、それを資源化することに取り組まれている「クリーン古里づくりの会」の活動には敬意を表する。生ゴミの堆肥化は有機農業につながるものであり、安心な野菜づくりなどの原点であると受け止め

生ゴミの堆肥化に取り組んでいます



ている。また、農業委員会では、委員が中心となり有機栽培推進協議会を立ち上げ、将来的には町内の生ゴミすべてを資源化し、堆肥化していくという構想を持っておられるようであり、今後、さらに発展していくことを願っている。



平岡久茂議員

女子職員の制服を自由化しては

【平岡議員】女子職員の制服は全国的には自由化、又は、廃止する方向にある。本町の女子職員の制服も自由化すれば、町民の皆さんにソフトな印象を与えるとともに、経費の節減になると考える。

職員の意見も参考にし、節度のある私服での執務を提言したいと思うが考えを伺いたい。

女子職員には制服の貸与を続ける

【木沢経営管理課長】女子職員に制服について意見を求めたところ、「現状のまま制服の貸与を続けてほしい」とい

う意見が大勢を占めている。このことから、単に経費節減という事情のみで簡単に廃止することは難しいのではないかと考えている。

住民の皆さんが違和感なく、私服での事務を受け入れていただけることがはっきりしたときには、改めて検討したい。

パソコン講座を増やしては

【平岡議員】町民を対象とし

きたいと思っているが、現在のところは現状のまま、制服の貸与を続けていきたい。



満席となったパソコン講座

たパソコン教室が開講され、受講者に好評を得た。しかし、機種数に限りもあり、受講したい人や、申込みに漏れた人があった。次回に計画されるときは、多くの希望者に答えられるよう、講座の回数等の配慮が必要と思うが考えを伺いたい。

操作技能の習得の拡大を図る

【井戸教育課長】国においては、IT立国の形成を目指した政策を総合的に推進しており、全国民がインターネットを使うよう国民運動を展開することとしている。本町でも国、県と歩調を合わせた施策の推進が求められており、今後は、パソコンやインターネットの操作等の基礎技能の習得拡大を図るため、IT講習（情報通信技術講習）の実施を推進する必要がある。講習回数の増や内容、指導者育成等ソフト面の充実、IT学習環境の整備等ハード面の整備に取り組んでいきたい。



点検の済んだ蛍光灯

蛍光灯のPCB対策は万全か

【平岡議員】公共施設の照明設備で、PCB含有器具による破裂事故があり、児童に被害がでたとの報道があった。

本町の学校、公共施設に危険な蛍光灯が使用されていないのか、調査済みであれば

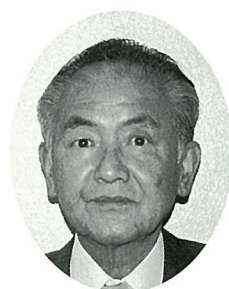
その結果と、異常な器具があれば対策について伺いたい。

調査結果に問題はなかった

【井戸教育課長】PCBを使用した安定器は、昭和32年から47年にかけて製造された一部の蛍光灯に使用されていたものである。

本町の小中学校の、校舎及び体育館の建設は、西小校舎と中学校体育館以外は昭和54年以降の建設であり、問題はない。

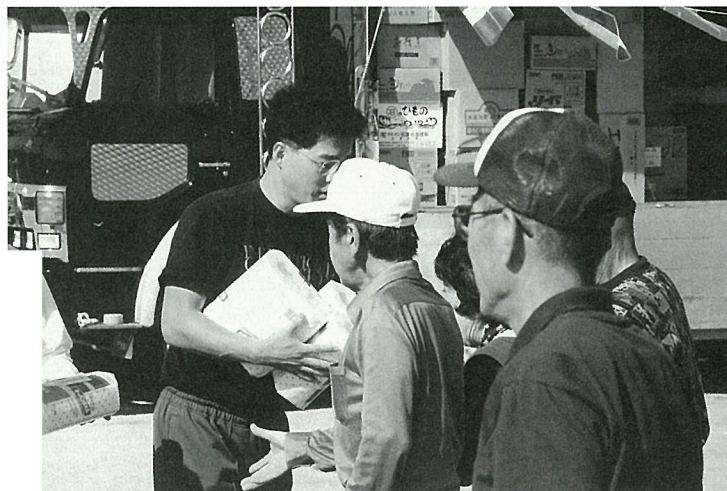
西小校舎は平成元年に、中学校体育館は2年に大規模改修を行っており、問題はないと思われるが、念のため電気事業者に調査を依頼し実施している。その結果は、問題の器具は使われていないとの報告を受けている。



桜井一二議員

は 町民運動会の景品提供

【桜井（一）議員】町長は、商工会から提供された町民運動会での景品が、町民に満遍な



運動会の景品を渡す商工会員

く行き渡らないことから、「景品は商品券で出したらよい」と発言された。議会での真意をただされた町長は、「私の発言は不用意で不適切であり、素直に反省し、発言の取り消しを認めていただきたい」と、答弁されている。

商工会青年部では、今年の運動会は、町長の発言どおり景品の提供は無いものと理解していたが、何とか景品の提供をしていただき、運動会を盛り上げていこうと、臨時の

な協力、景品の提供をお願いしておきながら、一言の感謝の言葉がなかったのはどうしてなのか伺いたい。

関係者には感謝している

【辻町長】行事とか大会などのあいさつは、あらかじめ用意された定例文では本当の思いが伝わらないことから読まず、自分の思いを述べている。

運動会では当日の楽しかった競技の内容とか、地区のがんばり、良い成績が団結のたまものであることを賞賛するあまり、お礼の言葉を言わないで終わってしまったのではないかと思っている。質問を受ける限り、そういったことを感じている。

商工会はもちろんのこと、体育協会、公安協、ボランティア団体、消防団等各種関係団体の皆さんには感謝の気持ちは十分に持っており、この場を借りて感謝したい。

商工会商品券発行で町長の考えは

【桜井（一）議員】川辺町の活性化と消費の拡大を図るため、商工会会員の協力で商品券が発行された。

商品券はプレミア付き、1200万円、プレミア無し500万円を発行し、発売後5日間で完売された。

商品券の取り扱い加盟店は、町内の91軒にあたる130店舗になっている。町の活性化のためにと商工会が一生懸命努力されているにも関わらず、加盟店への参加のお願いにいったが、町長の経営する商店は参加されなかった。参加されなかった理由を伺いたい。

参加する用意はある

【辻町長】商品券発行事業には、今後の広がりを特に注目しているところである。

私がこの事業に参加しなかった理由については、私が経営する牛乳店は零細店で可見市・



商品券取扱いの商店

多治見市の2つのスーパーへの納品と、町内の150戸に配達をしているのみである。一昨年の地域振興券では、私の店には1枚の使用もなかった。このようなことを従業員から言われたのではないかと思うが、私としては、いつでも参加する用意があることを申し上げておきたい。



桜井真茂議員

各種会議の欠席理由は

【桜井(真)議員】町長は「未来の県政を拓く会」総会に欠席された。町内からも多くの参加者があったが、なぜ、川辺町長だけが欠席されたのかと、大変おしかりを受けた。また、県下の市町村長が集まる「未来の県政を拓く会役員総会」にも欠席されたと聞いた。町の代表として当然出席される立場であり、出席できない場合には、当然代理者を出すべきであると考え。

美濃加茂市で行われた、元大臣の顕彰碑の除幕式にも欠席されているが、当然出席されなければならない式であると思っている。このようなことが続けば、広域行政が促進される中で、管内の協体制度が阻害されないか。



元大臣の顕彰碑除幕式

川辺町を代表される町長が、欠席された理由を伺いたい。

都合が重なり欠席した

【辻町長】未来の県政を拓く会は、私の都合とも重なり、あらかじめ欠席する旨を申し

上げ、了解をとっていた。また、県で行われた大会も都合の悪かった他の町村長と同様欠席をした。

顕彰碑の除幕式も欠席したが、代理出席は休日の公的行事では頼まないこととしている。

編集後記

新世紀の始まりに際しまして、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

去る12月26日に開催されました町議会臨時会において助役選任同意・条例改正と緊急動議で町長不信任決議案が提出されました。採決で起立の時には、体がふるえるほどでした。これほど一票の重みを感じたことはありませんでした。

賛成の議員も反対の議員もそれぞれ、川辺町のよりよい発展のためを考え、自分の意志を表したものです。

臨時会で否決となった、3件の案件について提案理由、質疑、討論、採決の内容を掲載しました。

編集委員長 牧田富朗
副委員長 鈴木朝典
委員 佐伯陽子